

令和3年度第1回経営協議会 議事要旨

日 時 令和3年5月17日（月） 14時30分～15時35分
場 所 事務棟第一会議室
出席者 （対面出席）穴沢学長，江頭理事，鈴木理事，近藤副学長，片桐委員，
上林委員
（オンライン出席）栗田委員，佐藤委員，杉江委員，福田委員，舟本委員
欠席者
陪席者 （対面出席）伊藤監事，近藤監事，溝部事務局長
（オンライン出席）福井理事

議事に先立ち，穴沢学長より新任である事務局長の紹介が行われた後，前回開催の令和2年度第5回経営協議会の議事要旨の確認が行われた。

討 議 事 項

1. 経営統合による新たな国立大学法人の経営方針等（最終まとめ）（案）について

穴沢学長から，討議資料1に基づき，経営統合による新たな国立大学法人の経営方針等（最終まとめ）（案）について説明があり，引き続き，討議・意見交換が行われた。

（主な意見等）

- 役員に女性を積極的に任命すると記載があり，大変望ましいことであるが，少なくとも1名は女性とする等の具体的な数値目標を入れるとより良いと思う。
- まだ具体的な議論にはなっていないが，おっしゃる通りであり，そういった認識は必要であると理解している。
- 法人の経営・運営体制概要の資料では，事務局の体制が検討中となっている。事務の効率化・合理化の部分が経営統合によって一番効果が表れる部分と認識しているが，なぜ検討中なのか。
- 3大学においても，まずは役員会等の経営体制・運営体制の議論を優先してきた。事務局の体制の検討も昨年7月の新法人設置準備事務局設置以降，並行して進めているところである。
- ただ今教育融合推進センターやオープンイノベーション・センターの業務の洗い出しを進めており，どの程度のマンパワーが必要かの検討も行っている。その結果により事務局の業務量も変わってくると考えている。
- 個別の大学の学長選考について，教職員による意向投票の導入予定はないと聞いているが，大学の教職員の意向を反映しない学長選考があり得るのか疑問である。個々の大学の学長の選考にあたっては教職員の意向を組み入れる仕組みが必要である。学長からも意見の申し出が必要だと思う。

報 告 事 項

1. 第4期中期目標・中期計画（素案）の策定について

穴沢学長から、報告資料1に基づき、第4期中期目標・中期計画（素案）の策定について報告があった。

2. 役員に係る令和3年6月期期末特別手当について

穴沢学長から、役員に係る令和3年6月期期末特別手当について、増減しないこととした旨報告があった。

3. 2021年度入学者選抜結果について

穴沢学長から、報告資料3に基づき、2021年度入学者選抜結果について報告があった。

4. 最近のトピックスについて

穴沢学長から、報告資料4に基づき、最近のトピックスについて報告があった。

その他

穴沢学長から、次回の経営協議会については、令和3年6月21日（月）14時30分から開催する予定である旨、発言があった。なお、緊急の案件が生じた場合には、急遽、会議を招集させていただくことも想定されるので、その場合には、会議の開催日程を調整させていただきたい旨、併せて発言があった。

以 上